



2019年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月9日

上場会社名	ミニストップ株式会社	上場取引所	東
コード番号	9946	URL	https://www.ministop.co.jp/
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)	藤本 明裕
問合せ先責任者	(役職名)取締役常務執行役員管理本部長	(氏名)	堀田 昌嗣 (TEL) 043-212-6472
四半期報告書提出予定日	2019年1月11日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第3四半期の連結業績(2018年3月1日~2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第3四半期	158,805	0.4	1,051	△5.2	1,868	△3.2	1,429	149.1
2018年2月期第3四半期	158,250	5.4	1,109	△40.9	1,930	△24.7	573	△30.9

(注) 包括利益 2019年2月期第3四半期 △428 百万円 (—%) 2018年2月期第3四半期 1,299 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第3四半期	49.30	49.27
2018年2月期第3四半期	19.80	19.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第3四半期	117,284	57,264	46.0
2018年2月期	120,616	58,777	46.0

(参考) 自己資本 2019年2月期第3四半期 53,971 百万円 2018年2月期 55,464 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2019年2月期	—	22.50	—		
2019年2月期(予想)				22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年2月期の連結業績予想(2018年3月1日~2019年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	6.3	1,800	—	2,700	126.3	1	—	0.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年2月期3Q	29,372,774株	2018年2月期	29,372,774株
2019年2月期3Q	374,845株	2018年2月期	379,969株
2019年2月期3Q	28,996,988株	2018年2月期3Q	28,982,925株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2018年3月1日～11月30日）における日本国内経済の状況は、雇用・所得環境の改善傾向が続き、個人消費や民間企業設備投資など内需の牽引により景気回復が続いております。小売業につきましては、異業態間の競争激化、長期にわたる景気回復による人手不足感の高まり等、厳しい環境が続く中、コンビニエンスストア業態は地域に欠かせない生活インフラとしての役割を担っています。

このような状況の中、当社グループは“私たちは、「おいしさ」と「便利さ」で、笑顔あふれる社会を実現します。”というミッションのもと、“もっと便利、もっと健康、もっと感動、毎日行きたくなる店舗をつくります。”というビジョンの実現に向け、国内コンビニエンスストア事業および海外エリアフランチャイズチェーン展開を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、営業総収入1,588億5百万円（前年同期比100.4%）、営業利益10億51百万円（前年同期比94.8%）、経常利益18億68百万円（前年同期比96.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億29百万円（前年同期比249.1%）となりました。

営業利益が前年を下回った理由は、ミニストップ(株)の売上高が計画に届かなかったことによります。親会社株主に帰属する四半期純利益が前年を上回った理由は、財務体質強化の目的で投資有価証券売却益を特別利益として19億95百万円計上したことによります。

国内および海外のエリアフランチャイジーを含めた当第3四半期連結会計期間末店舗数は、5,461店舗となりました。

各事業の活動状況は次のとおりです。

[国内事業]

ミニストップ(株)のチェーン全店売上高は前年同期比98.3%となりました。ミニストップ店舗の既存店1店1日当たりの売上高前期比（以下、既存店日販昨対）は98.4%、店内加工ファストフードの既存店日販昨対は100.4%、コンビニエンスストア商品の既存店日販昨対は98.1%でした。

店内加工ファストフード商品は、9月に「なめらかプリンパフェ」、10月に「フォンダンショコラ」、11月に「プレミアムあずき抹茶ソフト」と、毎月有力なコールドスイーツを投入し売り込みを強化しました。その中でも、「なめらかプリンパフェ」と2年振りに再販売した「フォンダンショコラ」がご好評をいただき、コールドスイーツのパフェ分類は前年同期比149.6%となりました。

コンビニエンスストア商品は、雑誌・新聞の不振が続きましたが、当期に重点的に強化している、サラダと冷凍食品が前年を上回ったほか、たばこ増税によるまとめ買い需要で、たばこが前年を上回りました。さらに、第3四半期は売場の再構築に着手し、お客さまの消費シーンに合わせた売場づくりを進めました。先行で実施した直営店では客単価が上昇する効果が出ており、直営店の事例を全国に水平展開し改善のスピードを向上してまいります。

販売促進活動は、WAON POINTの利用促進を目的とした販促を中心に実施しました。その中でも、お客さまのカードにたまったポイント利用を促進する「WAON POINT ポイントバックキャンペーン」企画がご好評をいただきました。

販売費及び一般管理費は、加盟店の品揃え支援などに資源を集中し、既存店舗の売上向上に努めました。

店舗開発につきましては、採算性を重視した出店と、計画的に不採算店舗の閉店を実施し、出店は50店舗（cisca含む）、閉店は83店舗となり、国内事業における当第3四半期連結会計期間末店舗数は2,231店舗となりました。

ネットワークサービス(株)は定温センター13ヶ所、常温センター7ヶ所を運営し、ミニストップ(株)向けの共同配送事業を展開しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における国内事業の営業総収入は639億84百万円（前年同期比99.2%）、営業利益は13億1百万円（前年同期比81.3%）となりました。

[海外事業]

韓国の韓国ミニストップ(株)は、当期に継続して強化している、米飯類を中心とした中食商品の拡充や、店内加工ファストフード商品の主食・ホットデザート売り込み強化により、売上総利益率が前年同期比+0.3ポイントとなり、営業利益改善に寄与しました。当第3四半期連結会計期間末店舗数は2,538店舗となりました。

中国の青島ミニストップ有限公司は、直営店のFC化に取り組み、FC比率は85.0%まで伸長しました。また、上期

より継続して強化している2温度帯デリケース効果等により、売上総利益率が前年同期比+1.7ポイントとなり、営業利益改善に寄与しました。当第3四半期連結会計期間末店舗数は74店舗となりました。

ベトナムのMINISTOP VIETNAM COMPANY LIMITEDは、コンビニエンス部門の品揃えの見直しと米飯類を強化しました。その結果、既存店日販対は106.7%と堅調に推移しました。当第3四半期連結会計期間末店舗数は122店舗となりました。

フィリピンのロビンソンズ・コンビニエンス・ストアーズ・インクの当第3四半期連結会計期間末店舗数は496店舗となりました。

以上の結果、海外エリアでの当第3四半期連結会計期間末店舗数は3,230店舗となりました。

当第3四半期連結累計期間における海外事業の営業総収入は948億20百万円（前年同期比101.2%）、営業損失は2億49百万円（前年同期実績 営業損失4億92百万円）となり、前年同期より赤字幅を圧縮しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ33億32百万円減少し、1,172億84百万円となりました。これは主に関係会社預け金が10億円、投資有価証券が26億39百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ18億19百万円減少し、600億19百万円となりました。これは主に未払金が1億27百万円、未払法人税等が9億59百万円増加し、店舗での公共料金等の取り扱いによる預り金が30億18百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ15億12百万円減少し、572億64百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が16億74百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は計画通り推移しており、2018年4月11日の決算短信で公表いたしました2019年2月期の業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,842	5,679
加盟店貸勘定	8,852	8,516
商品	3,438	3,511
未収入金	10,419	10,995
関係会社預け金	4,000	3,000
その他	6,078	6,414
貸倒引当金	△100	△116
流動資産合計	38,529	38,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,138	16,285
機械装置及び運搬具（純額）	2,420	2,345
器具及び備品（純額）	12,320	12,211
土地	432	432
リース資産（純額）	66	78
建設仮勘定	329	220
有形固定資産合計	31,709	31,575
無形固定資産		
ソフトウェア	1,824	1,566
のれん	337	286
その他	969	2,756
無形固定資産合計	3,132	4,609
投資その他の資産		
投資有価証券	7,934	5,295
関係会社株式	1,559	1,577
長期貸付金	443	512
差入保証金	31,098	29,526
その他	6,378	6,351
貸倒引当金	△169	△165
投資その他の資産合計	47,245	43,098
固定資産合計	82,086	79,283
資産合計	120,616	117,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,955	24,626
加盟店借勘定	662	771
短期借入金	4,032	2,304
未払金	5,753	5,881
未払法人税等	264	1,223
預り金	12,899	9,880
賞与引当金	224	571
店舗閉鎖損失引当金	57	122
その他	2,581	3,423
流動負債合計	51,432	48,806
固定負債		
長期借入金	—	1,521
リース債務	61	63
長期預り保証金	6,775	6,319
退職給付に係る負債	489	586
資産除去債務	2,349	2,328
その他	730	393
固定負債合計	10,406	11,212
負債合計	61,839	60,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,491	7,491
資本剰余金	7,592	7,592
利益剰余金	35,850	35,972
自己株式	△671	△662
株主資本合計	50,262	50,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,728	3,054
為替換算調整勘定	691	695
退職給付に係る調整累計額	△219	△171
その他の包括利益累計額合計	5,201	3,578
新株予約権	28	21
非支配株主持分	3,285	3,271
純資産合計	58,777	57,264
負債純資産合計	120,616	117,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年3月1日 至2017年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)
営業総収入	158,250	158,805
営業原価	99,723	103,340
営業総利益	58,526	55,464
販売費及び一般管理費	57,417	54,412
営業利益	1,109	1,051
営業外収益		
受取利息	435	427
受取配当金	125	135
持分法による投資利益	—	48
違約金収入	221	194
その他	176	136
営業外収益合計	959	942
営業外費用		
支払利息	37	61
持分法による投資損失	23	—
課徴金	—	23
その他	77	41
営業外費用合計	138	126
経常利益	1,930	1,868
特別利益		
固定資産売却益	15	32
投資有価証券売却益	—	1,995
特別利益合計	15	2,027
特別損失		
減損損失	835	1,049
店舗閉鎖損失	179	379
店舗閉鎖損失引当金繰入額	26	122
その他	16	53
特別損失合計	1,057	1,604
税金等調整前四半期純利益	888	2,291
法人税、住民税及び事業税	660	1,256
法人税等還付税額	△136	—
法人税等調整額	△1	△121
法人税等合計	522	1,135
四半期純利益	365	1,156
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△208	△273
親会社株主に帰属する四半期純利益	573	1,429

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)
四半期純利益	365	1,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	651	△1,674
為替換算調整勘定	308	168
退職給付に係る調整額	46	48
持分法適用会社に対する持分相当額	△71	△126
その他の包括利益合計	934	△1,585
四半期包括利益	1,299	△428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,454	△193
非支配株主に係る四半期包括利益	△154	△235

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しています。

顧客に対する一部の支払について、従来、販売費及び一般管理費として会計処理していましたが、第1四半期連結会計期間より営業総収入から控除しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業総収入が4,500百万円減少し、販売費及び一般管理費は4,500百万円減少しています。

なお、本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年3月1日 至 2017年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業総収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		
	国内事業	海外事業	計
営業総収入			
外部顧客に対する営業総収入	64,511	93,739	158,250
セグメント間の内部営業総収入又は振替高	470	—	470
計	64,981	93,739	158,720
セグメント利益又は損失(△)	1,601	△492	1,109

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位: 百万円)

	国内事業	海外事業	合計
減損損失	683	151	835

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業総収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		
	国内事業	海外事業	計
営業総収入			
外部顧客に対する営業総収入	63,984	94,820	158,805
セグメント間の内部営業総収入又は振替高	493	—	493
計	64,477	94,820	159,298
セグメント利益又は損失(△)	1,301	△249	1,051

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位: 百万円)

	国内事業	海外事業	合計
減損損失	810	238	1,049